

2018 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 震災から命を守る会
活動テーマ	平成 31 年「1.17 阪神淡路大震災からの教訓」



・平成 7 年 1 月 17 日早朝に発生した「阪神淡路大震災」では、人々は突然起こった地震に驚き、建物（家）から外に逃げ出せたほとんどの人は裸足で脱出しました。気が付くと足は血みどろになっていて、立てなくなり、その後は大変不自由な日々を過ごしました。生きているから味わえる苦難でした。こうした体験から、卵の殻をがれきやガラスに見立てて歩き、実際に痛さを味わい、いざという時には靴を履くという習慣を身につける訓練や大声で助けを求める練習を行っています。

・災害に遭遇した時、命を守る訓練をしたことのある人と、無い人では天と地の差が生じます。訓練を体験した人は自分の命を守る方法を学んでいます、知らない人は命を落としやすいのです。いざと云う時、準備していないことはできないのです。

写真左上…大阪府支部「この花保育園」。自分の命を守るための「ダンゴムシ」のポーズ。

右上…東京都支部準備室「Agape 井草保育園」。被災地の写真を見て、どうすれば命を守れるか考えます。

左下…和歌山県本部「和歌山ビッグウェーブ」市内の 8 園合同訓練。タマゴの殻をはだして歩いてみよう!

右下…同上。児童、園職員、保護者等 280 人が命を守る基礎訓練を行いました。